

# 第 21 回 平取ダム地域文化保全対策検討会

## 議 事 要 旨

日 時：令和 3 年 3 月 17 日（水）午後 1 時 3 0 分開会  
場 所：平取町中央公民館 1 階 大ホール

北海道開発局室蘭開発建設部

沙流川ダム建設事業所

## 第21回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時：令和3年3月17日（水）午後1時30分開会

場 所：平取町中央公民館 1階 大ホール

出席者：遠藤 桂一 平取町長  
萱野 志朗 平取アイヌ協会副会長  
川奈野 栄子 平取アイヌ協会副会長  
木幡 サチ子 平取アイヌ協会  
木村 英彦 平取アイヌ協会会長  
木村 二三夫 平取アイヌ協会副会長  
庄野 剛 平取町教育委員会教育長  
高山 修 平取町議会総務文教常任委員会委員長  
千葉 良則 平取町議会議長  
常本 照樹 札幌大学地域共創学群教授  
山崎 幸治 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授  
(五十音順／敬称略)

- 次 第：1. 開会  
2. 挨拶  
3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について  
4. 審議 地域文化に係る調査・検討について  
5. 報告事項 地域文化調査の成果概要について  
6. 閉会

資 料：会議次第

資料-1 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）

資料-2 「地域文化に係る調査・検討」について

資料-3 地域文化調査の成果概要

## 1. 開会

事務局：定刻となりましたので、ただいまから「第 21 回 平取ダム地域文化保全対策検討会」を開催いたします。

議事に入ります前に、会場の皆様をお願いを申し上げます。携帯電話につきましては、電源をお切りになるか、マナーモードに設定していただくよう、お願いいたします。今年度の検討会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から委員及び事務局のみで開催とさせていただきます。また、今回の資料及び議事録要旨は室蘭開発建設部の HP に掲載しますのでご承知のほうよろしくようお願いいたします。なお、本検討会の記録のため、事務局で録音、撮影を行いますことをご了承をお願いいたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第がございます。続きまして、資料-1「平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領(案)」、資料-2「地域文化に係る調査・検討について」、資料-3「地域文化調査の概要について」となります。

本検討会につきましては、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領の第 6 条の 2 項に記載がありますとおり、委員会の出席が過半数以上となっておりますので、成立とさせていただきます。

## 2. 挨拶

事務局：それでは、議事に先立ちまして、沙流川ダム建設事業所長よりご挨拶いたします。

所長：開催にあたりまして、一言、ご挨拶申し上げます。委員の皆様方におかれましては、年度末の大変忙しいところ、本日もご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、当事業所で建設を進めております平取ダムにつきましては、完成も間近となりまして、令和 4 年度の供用開始を目指して本体工事を進めているところでございますが、ダム事業に伴うアイヌ文化の保全につきましては、平成 25 年度のとりまとめに沿って保全対策の具体化について検討、調査などを行ってきたところでございます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、本会を開催できなかったところではございます。本日は 2 年間分の取り組みを今回報告させていただき、その後ご意見を承りたいと考えております。

なお、これまでの検討会の議論を踏まえまして、ワーキング等で月 1 回の調査にご協力いただきました平取アイヌ協会の木村会長をはじめ協会の皆様方にはこの場を借りて感謝申し上げます。

最後になりますが、私ども沙流川ダム建設事業所では、本検討会のご意見、ご議論を踏まえまして、引き続きアイヌ文化の保全対策にしっかりと取り組んでまいりたいと考えてお

りますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

### 3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について【資料-1】

事務局：それでは、議題の3つめの3.「平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について」に入らせていただきます。お手元の資料-1をご覧ください。今年度の主な変更点をご説明させていただきます。第3条の検討会の構成について、別表1の太字で記載されておりますところが、変更となっていることをご報告いたします。また、委員の委嘱期間は令和3年3月31日までとしております。

ただ今ご説明させていただきました「検討会設置要領（案）」について、委員の方々からご質問やご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：特段ないということですので、本日より（案）をとりまして、本検討会の「設置要領」としたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、一昨年開催しました第20回検討会の議事録につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載しておりますのでご報告をいたします。

事務局：続きまして、座長の選出に移らせていただきます。検討会の座長は、検討会設置要領第4条の2項で「委員の互選」と定められております。つきましては、委員の皆様から座長のご推薦、または自薦をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：〇〇委員にお願いしてはどうかと思います。

事務局：ただいま〇〇委員をとのご推薦いただきましたが、ほかに自薦またはご推薦ございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：それでは〇〇委員に座長をお願いするということでもよろしいでしょうか。

（「意義なし」と発言する者あり）

事務局：ありがとうございました。委員の皆様のご賛同をいただきまして、〇〇委員に座長

をお願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

座長：座長に推薦をいただきました〇〇でございます。円滑な議事の進行にご協力をよろしくをお願いしたいと思います。

事務局：ありがとうございます。それではこれより、座長に進行をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

座長：それでは皆さんよろしくお申し上げます。本日の大まかなスケジュールでございますけれども、最初に、これまでの「地域文化に係る調査・検討」について審議を行いました、その次に報告事項として、具体の「地域文化調査」の報告がございます。

#### **4. 審議 -地域文化に係る調査・検討について-【資料-2】**

座長：それでは、4.「審議」といたしまして「地域文化に係る調査・検討」について、事務局より説明をお願いいたします。

\*事務局より資料-2「地域文化に係る調査・検討」について説明

座長：ありがとうございました。ただいま、事務局より説明のありました「地域文化に係る調査・検討」について、委員の皆様からご意見やご質問等あれば、お願いいたします。

委員：以前の検討会で〇〇委員より、チノミシリを掘削した際の石をできるだけ活用したほうが良い、との意見が出たかと思いますが、その後の対応を紹介した方が良いのではないかと思います。

事務局：チノミシリを掘削した岩の活用については、新たな祈りの場のヌサの周囲に設置する石積み擁壁の築山上部に設置することを考えております。また、ダム下流の堤体にも掘削した岩を設置して、ダムと一体化となるようなことを考えております。

委員：私自身は内容について報告を受け把握していますが、チノミシリの掘削については非常に大事な内容であり、開発局もアイヌ協会も可能な限り慎重に実施していることを共有するため、説明いただいた次第です。

その他、S-05 植物園とスズラン群生地との関係性についても説明が必要と思われます。また、以前からお聞きしている内容ですが、ヨシ原の火入れについて、実施可能かをお聞きしたい。

事務局：S-05 植物園とスズラン群生地との連携が図れるようフットパスや人道橋を整備しております。

火入れについては、消防法等に係る部分や占用等の扱い等も含めて確認を行っているところであり、また、消防法等の条件を踏まえ、実施方法について検討を進めております。

委員：次年度以降ダム工事終了後も、植物のモニタリングについては何年間か継続すると聞いていますが、検討会の開催はどうなるのか。年に1~2回程度は報告や議論の場を設けた方が良く思っており、再来年度以降の検討会の開催について、今後の方針をお聞きしたい。

事務局：本検討会の位置づけは、平取ダム周辺のアイヌ文化に与える影響とその保全対策の検討・調査であります。アイヌ文化の持続的な継承につながっていく部分については継続が必要と考えております。

本検討会を継続するか又は新たな枠組みとして進めるか検討が必要ですが、今後もアイヌ文化の持続的な保全を可能にするための体制は作っていきたいと考えております。

座長：〇〇委員の質問に関連してですが、スズラン群生地につきましては平取町の貴重な観光資源の1つとなっており、S-05等の植物園ができることを踏まえ、平取町としても多様な誘致を検討していきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

検討会のあり方については、町としてはダム事業地にとどまらず、沙流川流域全体の計画もぜひ検討して頂ければと考えております。よろしく願いいたします。

委員：カムイワッカの緑化について、植生マットを使用するとあるが、外来種を使用しない、又は既存植生を活用する等の配慮がされているかお聞きしたい。

事務局：植生マットについては無種子であり、浸食に対して効果を挙げつつ、周辺植物が飛来、発芽することで緑化を図ることとしております。

委員：有用植物の計画について、気候変動に伴うサーチャージ水位の変動は勘案していますでしょうか。その他、浸水の度合い等は把握されていますでしょうか。また、水没時の有用植物の回復方法についての検討はされているのかをお聞きしたい。

事務局：保全地区によって水位変動の影響が異なっており、過去や現状の植生状況等を踏まえて検討を進めている状態でございます。

今後はダムの試験湛水等の結果を踏まえつつ、対策についてもモニタリング調査を通して検討していきたいと考えております。

## 5. 報告事項 -地域文化調査の成果概要について-【資料-3】

座長：次に5.「報告事項」に移らせていただきたいと思います。「地域文化調査の成果概要」についての説明を、平取町アイヌ文化保全対策室よりお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

\*対策室より資料-3「地域文化調査の成果概要」について説明

座長：委員の方々からご質問、ご意見等ございましたら、お受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員：魚類調査について、コタンコロカムイの主食とされていたハナカジカの生息は確認できているのか、また以前巨大なアオドジョウが生息していたが、現在生息しているのかをお聞きしたい。

対策室：ハナカジカについては仁世宇で確認されています。特に、仁世宇のシュウター川に集中して生息しているという感じでございます。アオドジョウであるかは不明ですが、各河川でドジョウの生息は確認されています。

委員：イナウケの材料は平取ダム事業地内から採取されたものかお聞かせください。

対策室：このイナウの材料は、二風谷周辺の河川で採取したものであります。

委員：平取ダム事業地内にはないのですか。

対策室：ダム事業地にも生育していますが、今回は近場で採取しました。

委員：ダム事業地内には、儀式に使う分のヤナギは存在していますか。

対策室：ヤナギは自生していますが、これまでどのような材料が適しているかの判断ができていませんでしたが、今回判断できるようになったと考えています。

委員：ヤナギの中には、倒しておくといナウに使いやすい枝が出ると聞いたことがある。ダム事業地内で用意できる場所を考えておくとい思う。

アベツ川について「マスが遡上する」とあるが、下流に堰堤や、国有林に入る地点に砂防

ダム等が設置されているが、遡上に問題ない状態なのかお聞きしたい。

対策室：砂防ダムについて魚道等はないとおらず、マスの遡上は不可能と考えております。今回の調査は砂防ダムより下流で行いました。

委員：以前も継続して検討するという話が出ていたかと思うが、砂防や堰堤に魚道がないのが問題ではないか。問題提起し、検討会等で議論しないと解決しないのではないかと思います。

対策室：現在は、可能な範囲で調査を行っていますが、今後は、ご指摘頂いた問題提起等の視点を含めて調査を実施したいと思います。

委員：サケ 20 匹をふ化場から貰ったとあるが、自然遡上分は捕獲できなかったのですか。今年はかなり数が自然遡上していたと聞いており、アベツ川にも遡上していると思った。

対策室：サケの特別採捕は 10 月 1 日に終了しましたが、10 月 1 日の時点では、アベツ川への遡上は確認できませんでした。代わりに、サクラマスが非常に多く遡上していました。

委員：サクラマスは捕獲しましたか。

対策室：確認するためタモ網ですくって捕獲しました。また 10 月下旬くらいにかけて、アベツ川にサケが自然遡上しているのを確認しました。

委員：貫気別小学校で教材として使った物語はユカラでしょうか。

対策室：「カムイユカラ」です。

委員：授業内でカムイユカラを実施したのですか。

対策室：授業の中で音声資料を流して聞いてもらった後、絵本の説明等を含めた形で授業を実施しました。

委員：川州畑の栽培については長年実施していますが、近年の収穫量が不明です。何年も実施しているので、不作になることはないと考えているが、ある程度安定した収穫量が確保できている状態なのかお聞きしたい。

対策室：今年度は試験畑の場所を変えたばかりで、収穫量はちょっと少なかったと思います。

委員：カワシンジュガイの生息は確認できていますか。

対策室：生息は確認できませんでした。

委員：カワシンジュガイというのは、移植等はできないのですか。千歳川に生息しているのを見たことがあるが、このようなことは勝手に実施してはいけないのでしょうか。

対策室：昨年から生息環境が存在しているかどうかについて調査していますが、カワシンジュガイそのものの生息については確認できておりません。

来年は専門家等にご協力頂きつつ、カワシンジュガイの生態や移植について確認できればと考えています。今後はそのような体制で実施したいと考えております。

委員：以前も指摘しましたが、全体を通して蓄積されたデータをどのように活用していくかが重要だと考えていますが、最終的にどうなるのか分かりにくいので、その検討を進めてほしいと考えています。

対策室の活動については世界中で評価されており、カナダの先生からも褒めていただいた。また、地域の先住民が中心となって調査を行うことがとても重要ともおっしゃっていたので、是非発信できるようにしていきたい。それに伴い、可能ならば日本語だけでなく英語で世界中へ発信することも視野に入れ検討すると良いと思っています。

事務局：英語での発信や、これまでのデータを平取のアイヌ文化の継承にどのようにつなげていくかについて、皆さんと議論しつつ進めていきたいと考えております。

委員：一昨年にも話した内容ですが、町内5小学校のうち、貫気別小学校について、アイヌ文化について手厚い指導を頂いていますが、昨年からは学習係という担当職員を配置したので、ほかの4小学校、2中学校についても同様の体験ができるように考えて頂ければと思います。新年度も協議の上、進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

座長：その他、どうでしょうか。

それでは、報告事項の地域文化調査の成果概要については、このような内容で終了させていただきたいと存じます。

本日の検討会の議題は全部終了いたしまして、座長として最後に一言申し上げさせていただきます。

沙流川ダムの所長からもございましたけれども、沙流川総合開発事業としての平取ダム建設が来年度完了し、これにより治水対策が大幅に強化されるということです。これは以前からも地域の念願でもございましたので、私としても大きな喜びと思っております。

あわせて、平取ダムの建設に関して、十数年このような調査をやってきたというところでもございまして、平取町にとってもアイヌ文化の振興・継承に係る貴重なデータが蓄積されたという認識がございます。私たちの方も進歩して様々なアイヌ文化の振興・継承の取り組みをさらに強化してやっていきたいという所存でございます。

また、北海道開発局にもご尽力賜りながら是非前に進めて、平取町から全国にアイヌ文化を発信できるように、体制を更に進めてまいりたいと思っておりますので、今日お集りいただいた皆様はじめそれぞれのご尽力を賜りますことをお願いして、座長のご挨拶とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

それでは、事務局の方にお返しします。

## 6. 閉会

事務局：ありがとうございました。事務局としましては今後も各委員のご指導をいただき、ご相談させていただきながら調査・検討を進めまいりたいと考えて思っていますので、ご協力の方よろしく願いいたします。

また、本日の資料につきましては、室蘭開発建設部のHPに掲載する予定でございます。

それでは、以上を持ちまして「第21回平取ダム地域文化保全対策検討会」を閉会いたします。本日はありがとうございました。

以上